

川崎医科大学 英語

2026年2月1日実施

<解答>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
I	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓐ	Ⓓ	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓐ	Ⓐ	Ⓓ	Ⓒ	
II	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	Ⓓ	Ⓐ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓒ
III	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
	Ⓐ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓓ	Ⓐ	Ⓒ	Ⓓ

*手配りした解答速報と昨日公開したWeb上の解答速報において、上記一覧における解答番号32の解答が、誤ってⒶと表記されていましたが、正しくはⒹとなります。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

I 文法4択

問 1 Ⓐ Some say books on mathematics are too difficult, but I find them fascinating.

「数学の本は難しすぎると言う人もいるが、私は魅力的だと思う」

fascinate : 「～を魅了する」の現在分詞形 fascinating を用いる。

問 2 Ⓐ As the new coach, Tom needs to have full control over the team's training schedule.

「新しいコーチとして、トムはチームのトレーニング日程を完全に管理する必要がある」

<have control over ~> : 「～を管理、制御、支配する」

問 3 Ⓐ A: Do you think he'll lend us his car for the weekend?

「週末に彼が私たちに車を貸してくれると思うかい」

B: Not a chance. He doesn't even let his brother drive it.

「絶対無理よ。彼は自分の兄弟に車を運転させることさえしないんだから」

Not a chance. は「絶対無理、あり得ない、可能性がない」、 It's worth trying. 「それは試してみる価値がある」、 You got it. 「その通りだ」、 That sounds good. 「いいね、よさそうだね」という意味の口語表現である。

問 4 Ⓐ The restaurant's menu features unique dishes carefully crafted by a famous chef.

「そのレストランのメニューは、有名シェフが丹念に作り上げた独創的な料理を売りにしている」

feature : 「～を看板にする、売りにする / ～を特徴として持つ」

問 5 ④ The travel agent said, "Please make sure your passport is valid for at least six months beyond your travel dates."

「旅行代理店は『パスポートが旅行日程終了後、少なくとも 6 か月間有効であることを確認してください』と言った」

valid 「有効である」 due 「期限である」 genuine 「本物の」 suitable 「適している」

問 6 ④ If I had known about the traffic, I would have left much earlier.

「もし交通状況について知っていたなら、私はもっと早く出発していただろう」

過去の事実に反する仮定であるので、仮定法過去完了を用いる。

問 7 ④ I am in no way suggesting that you give up, just that you take a break.

「私はあなたに諦めろと言っているのではまったくなく、ただ休憩を取れと言っているのである」

<in no way> 「まったく～でない」 <by all means> 「どうぞ、ぜひとも～」 <for some reason> 「どういうわけか」 <more or less> 「多かれ少なかれ」

問 8 ④ The extremely dry weather caused an acute shortage of water in the area.

「極度に乾燥した天候が、その地域に深刻な水不足を引き起こした」

acute 「深刻な、急性の、激しい」 external 「外部の」 optional 「任意の」 identical 「同一の」

問 9 ④ I tried very hard, but I still couldn't grasp what he was getting at.

「私はとても努力したが、それでも彼が何を言わんとしているのか依然として理解できなかった」

<get at ~> 「～を言おうとする、ほのめかす」

問10 ④ The film was met with criticism for its lack of originality and poor storyline.

「その映画はオリジナリティの欠如と貧弱なストーリー展開のために批判を受けた」

<be met with ~> 「～（という反応）を受ける」

問11 ④ The performance was absolutely amazing. Deeply moved, she wiped away her tears.

「その演技は本当に素晴らしいかった。彼女は深く感動し、涙を拭った」

“She was deeply moved and” を分詞構文にした Deeply moved を用いる。

問12 ④ A: I'm not sure if I should take this job.

「この仕事をすることにすべきか迷っているんだ」

B: You can't pass up such an opportunity. Go for it!

「そんな機会を逃すべきではないよ。やってみようよ」

<go for it> 「（思い切って）やってみる」 <take it away> （進行役が）「どうぞ始めてください」 <let it go> 「気にしない、水に流す」

問13 ④ The movie's ending completely blew my mind. I never expected it to end that way.

「その映画の結末に私は完全に度肝をぬかれた。あのような終わり方は予想だにしなかった」

<blow one's mind> :「（予想外すぎて頭がとぶほど）驚かせる」

問14 ④ Joe always comes on time. I'm afraid that something might have happened to him.

「ジョーはいつも時間通りに来る。彼に何か起こったのではないかと心配である」

<might have done ~> 「（今思うと）～だったかもしれない」 現在から過去に対する推量を表す表現

問15 ④ I'd like to share an important piece of information with you before you meet him.

「あなたとお会いする前に、できれば1つ重要な情報を共有したいと思います」

<piece of ~> 「1つの～」 不可算名詞を数えるための表現

問16 ④ Good secondhand furniture in excellent condition is hard to come by these days.

「状態の良い中古家具は、最近では手に入れるのが難しい」

<come by ~> 「～を手に入る」

問17 ④ Much as we wanted to go on a trip, the weather didn't allow us to do so.

「私たちは旅行に行きたかったが、天候がそうすることを許さなかった」

<much as ~> 「～であるが」 謙歩を表す副詞節を導く接続詞

問18 ④ There is no better feeling than coming home after a long day and relaxing with a good book.

「長い一日の後家に帰り、良い本を読んでくつろぐことより良い気分はない」

<there is no better ~ than ...> 「…より良い～なものはない」 比較級を用いて than の後ろに書かれているものが最上級であるという内容を表す表現

II 長文総合

問19 「その母親が娘の質問にすぐ答えなかつたのはなぜか」

- ④ 「彼女はその質問がまったくばかりでいると思ったから」
- ⑤ 「彼女は娘の冷えた足のほうが気がかりだったから」
- ⑥ 「彼女はその質問に対する適切な答えが見つけられなかつたから」
- ⑦ 「彼女は水の中のアヒルたちに注意を向けていたから」

正解は⑦。第1段落第2文が根拠となるが、その1文 자체が比喩になっているので、文字通り受け止めるのではなく、後に続く記述を踏まえて正しく場面を理解することが求められる。上述の1文の意味は「母親が答えなかつたのは、その瞬間に本物の喜劇が始まったからだった」である。ここでいう本物の喜劇とは何かを説明しているのが、第3文以降の記述である。それらの意味は「水をかいていたアヒルのうちの1羽が、別の1羽に少し近づきすぎ、たちまちガーガー鳴き、羽ばたき、つつき合う騒ぎになつたのである。おかしかつたのは、けんかが始まった途端、2羽とも水を搔くのを忘れてしまい、その結果、流れに乗つて一気に下流へと流され、流されながらもアヒルたちがガーガー鳴いていたことだつた。数秒後、自分たちがどれほど速く流されているかに気づくと、互いのことは忘れてしまい、今度は出発した場所へ戻ろうと、上流に向かって必死に水をかき始めた。元の場所に戻るまでには、少し時間がかかつた」である。母親が娘の質問にすぐに答えなかつた理由を端的にまとめると、目の前で展開されたアヒルの騒動に目を奪われていたからである。これを言い表したもののが⑦である。

問20 「2羽のアヒルの間でトラブルが起きたきっかけは何だったか」

- ④ 「一方のアヒルが、もう一方にあやうく触れそうになつた」
- ⑤ 「一方のアヒルが、残りのアヒルたちから離れようとした」
- ⑥ 「一方のアヒルが、相手のほうへ搔くのをやめた」
- ⑦ 「一方のアヒルが、もう一方のすぐ近くでガーガー鳴いた」

正解は④。第1段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「水をかいていたアヒルのうちの1羽が、別の1羽に少し近づきすぎ、たちまちガーガー鳴き、羽ばたき、つつき合う騒ぎになつたのである」である。

問21 「搔くのを忘れた結果、アヒルたちには何が起こったか」

- Ⓐ 「アヒルたちは激しい流れの中で、最終的に姿が見えなくなった」
- Ⓑ 「アヒルたちは互いの居場所を知るためにガーガー鳴き続けなければならなかった」
- Ⓒ 「アヒルたちは流れにすぐに押し流されてしまった」
- Ⓓ 「アヒルたちは水の流れに合わせて進むことができなかった」

正解はⒸ。第1段落第4文が根拠となる。その1文の意味は「おかしかったのは、けんかが始まった途端、2羽とも水を搔くのを忘れてしまい、その結果、流れに乗って一気に下流へと流され、流されながらもアヒルたちがガーガー鳴いていたことだった」である。この1文に含まれる“whooshed off”という表現を知っている受験生はいないと思われる。しかし、この表現でアヒルたちが「押し流された」と予想することは可能である。同段落第5文をもとにそれを確認してみよう。「数秒後、自分たちがどれほど速く流されているかに気づくと、互いのことは忘れてしまい、今度は出発した場所へ戻ろうと、上流に向かって必死に水をかき始めた」とあり、上流に向かって戻ろうとしているという内容を読み取れれば、そもそもその前にアヒルたちは「下流に流された」はずだと予想できる。

問22 「アヒルたちが、行うのにしばらく時間を要したのは何だったか」

- Ⓐ 「残りのアヒルのことを忘れる」
- Ⓑ 「もといた場所に戻ること」
- Ⓒ 「下流へ進むこと」
- Ⓓ 「自分たちの漕ぎ方がどれほど下手かに気づくこと」

正解はⒷ。第1段落第5、6文が根拠となる。それらの意味は「数秒後、自分たちがどれほど速く流されているかに気づくと、互いのことは忘れてしまい、今度は出発した場所へ戻ろうと、上流に向かって必死に水をかき始めた。元の場所に戻るまでには、少し時間がかかった」である。

問23 「空所(㉓)に入れるのに最も適切な単語を選べ」

- Ⓐ 「まるで～のように」
- Ⓑ 「～するといけないから」
- Ⓒ 「しかし」
- Ⓓ 「それゆえに」

正解はⒸ。空所を含む1文のおよその意味は、「水は凍り付きそうな冷たさだった～水鳥たちはおそらく寒さを感じていなかっただろう」である。空所を挟んで、対立する内容が並んでいることがわかる。ここから、逆接の表現である選択肢Ⓒを入れる。

問24 「異なった温度の物体間で熱はどのように移動するか」

- Ⓐ 「温度の高い物体は温度の低い物体に熱を与える」
- Ⓑ 「熱は温度の高い物体にとどまり移されることはない」
- Ⓒ 「温度の低い物体は自然と熱を温度の高い物体に与える」
- Ⓓ 「熱は、なくなるまで、二つの物体間を不規則に移動する」

正解はⒶ。第2段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「もし温度の高いものを温度の低いものの隣に置いたら、温度の高い物体のより高速でエネルギーのある分子が、温度の低い物体の分子に衝突して、熱エネルギーを温度の高い物体から温度の低い物体に移動させる」である。ここから、正解の選択肢はⒶとなる。

問25 「下線部(25) “shared out” とはこの文脈においては何のこと是指しているのか」

- Ⓐ 「蓄積される」
- Ⓑ 「分配される」
- Ⓒ 「消費される」
- Ⓓ 「浪費される」

正解はⒷ。下線部を含む1文の直前の文の意味は、「そういうわけで、熱の流れは常にそのように

なる。ゆっくりと振動する分子は、それよりも速く振動する分子にエネルギーを与えることはできないが、その逆は容易である」となる。その上で、下線部を含む1文がくる。その意味は、「だからすべてのものが同じ温度になり、平衡に到達するまでは熱エネルギーは分配される」となると考えられる。速く振動する分子からゆっくりと振動する分子に熱エネルギーが与えられることが繰り返され、その結果としてすべてのものの温度が同じになるということが読み取れれば、下線部の意味に該当する正解の選択肢は④となる。<share out~> は「～を分配する」という意味。

問26 「アヒルの温かい血液が、氷のように冷たい水にさらされると、どのような問題が生じるか」

- Ⓐ 「足全体の血液が凍ってしまう」
- Ⓑ 「速く搔く能力を失ってしまう」
- Ⓒ 「血流が過剰になってしまう」
- Ⓓ 「アヒルの体全体の体温が下がってしまう」

正解はⒹ。第2段落第7～10文が根拠となる。それらの意味は「アヒルにとって本当の問題は、足の中の血液の流れである。その血液は、アヒルの体の中心に位置する、暖かい場所にある心臓から送られてくるため、温度は華氏104度もある。その血液の温度が氷のように冷たい水にさらされると、温度差が非常に大きいため、血液は急速に熱を水に奪われてしまう。そうして冷えた血液が体に戻ると、今度は温かい体がその血液に熱を与えることになり、結果としてアヒルの体全体が冷えてしまうである。熱の移動のメカニズムそのものは同段落第4～6文に述べられているので、その理解があれば、アヒルの体全体が冷やされるという理屈も簡単に予想できるだろう。

問27 「本文によると、どのような熱移動の原理がアヒルの役に立っているか」

- Ⓐ 「温度差が小さいほど、熱移動は大きくなる」
- Ⓑ 「温度差が小さいほど、熱の喪失は少なくなる」
- Ⓒ 「温度に関係なく、似た物体同士では熱が速く移動する」
- Ⓓ 「温度差が大きいほど、熱の移動は遅くなる」

正解はⒹ。第2段落第12～15文が根拠となる。それらの意味は「そこでアヒルは、もっと単純な原理を利用している。それはこういうことだ。2つの物体が接触するとき、その温度差が大きいほど、熱は速く一方から他方へ移動する。そのことを言い換えれば、2つの物体の温度がより近いほど、熱の移動は遅くなる。これこそが、アヒルを本当に助けていた仕組みなのだ」である。原理がどのように実現されているかを理解できていなくても、本文の記述に素直に従うことで正解にたどりつくことはできるだろう。

問28 「本文によると、アヒルの脚に備わる他に類を見ない特徴とは何か」

- Ⓐ 「脚上部の静脈には下部よりも冷たい血液が流れている」
- Ⓑ 「動脈と静脈の間は大きく隔てられている」
- Ⓒ 「温かい血液は冷やされることなく動脈内に留まることができる」
- Ⓓ 「動脈と静脈は隣り合って流れている」

正解はⒹ。最終段落第2文に、「しかし、その動脈は足から血液を運び戻している静脈のすぐ隣にあった」とあり、アヒルでは動脈と静脈が隣り合って位置していることがわかる。その他の選択肢については本文で言及されていない。

問29 「下線部(29) “a countercurrent heat exchanger”についてアヒルで言及されていることは何か」

- Ⓐ 「温度の高い体の中心部に戻る血液が、足に流れていく血液を温める」
- Ⓑ 「効果的に血液を流せるのは、動脈と静脈の両方で同じ方向に血液を動かしているからだ」
- Ⓒ 「熱は足へと流れる血液から体に戻ってくる血液へと効率的に移動する」
- Ⓓ 「動脈と静脈内の血液は脚に到達するまでに、同じ温度に達する」

正解はⒸ。下線部(29)の含まれる最終段落第13文の意味は「これを対向流熱交換器といい、熱の喪失を防ぐための、驚くほど巧妙な仕組みである」である。「これ」が指す内容は同段落の第1文から

第12文までの全体である。そのうち、まず第1、2文に、「半狂乱で足をばたつかせているとき、温かい血液はそれぞれのアヒルの脚の動脈を流れていた。しかし、その動脈は足から血液を運び戻している静脈のすぐ隣にあった」とあり、(生物の教科知識によらずとも)動脈では血液が体から脚・足に向けて流れ、静脈では逆に足・脚から体に向けて戻ってくることが確認される。次いで第7文に、「そのため、熱は動脈から静脈と移っていく」とあり、熱が動脈から静脈へ、すなわち、脚・足など体の末端部へ流れる血液から体の中心部へ戻る血液へと受け渡されることが述べられている。そして第13文の後半には、「それが熱喪失を避けるきわめて巧妙な方法である」とあり、なるべく体外に熱が逃げないよう、逆方向に流れる動脈血と静脈血の間で熱の受け渡しが行われていることを優れた方法であると評価している。以上から、④が正解であると判断できる。

問30 「結論として、アヒルが氷の上に何の問題もなく立てる理由は何か」

- Ⓐ 「それらの足では寒さの感覚を知覚しない」
- Ⓑ 「それらは冷えた足をすぐに温めることができるよう適応した」
- Ⓒ 「それらは水中で搔くことで足を温める術をもつ」
- Ⓓ 「体温が足を通じてほとんど逃げたりしない」

正解はⒹ。最終段落第14、15文に、「ちゃんと熱が足に届かないようにできている場合に、アヒルはその経路からエネルギーが失われる可能性をほぼ排除できた。このようにして、アヒルは足が冷たくなるからこそ、上手いこと氷の上に立っていられるのである」とある。

III 長文総合

問31 「ジェームズに出会う前、筆者は医師の役割をどのようなものだと考えていたか」

- Ⓐ 「医学的な問題だけに取り組むこと」
- Ⓑ 「社会における問題に关心を持つこと」
- Ⓒ 「患者の社会的なニーズを意識すること」
- Ⓓ 「患者から学ぼうとする姿勢を持つこと」

正解はⒶ。第1段落第1文に、「私の医師としての焦点は医学的なことに当てられていた」とあり、続く第2文では「社会的な問題は、それが苦しみを引き起こすものであったとしても、医療という営みの領域の外にあるように思えた」とあるので、筆者は医師としての役割を医学に関するものに限定していたとわかる。

問32 「会話の初めの段階で、筆者はジェームズについてどのような印象を抱いたか」

- Ⓐ 「厳しい冬がジェームズの性格を変えてしまった」
- Ⓑ 「ジェームズは自分の課題について話す気がなかった」
- Ⓒ 「ジェームズは日常生活に圧倒されている」
- Ⓓ 「ジェームズの苛立ちは健康問題のみに由来している」

正解はⒹ。第3段落第2文に、「彼の顔には険しい苛立ちの表情が浮かんでおり、私はそれを、カルテに記されていた健康上の問題に関係したものだろうと思い込んだ」とある。さらに第一段落では、筆者は医師の仕事を医学に関するものに限定し、社会問題は医療の領域外だと考えていたことが述べられている。したがって筆者は、会話の初めの段階ではジェームズの苛立ちを社会的要因ではなく、健康問題のみに結び付けて考えていたと判断できる。

問33 「下線部(33) “he was being quite literal” とはどういう意味か」

- Ⓐ 「筆者を驚かせようとしていた」
- Ⓑ 「他人に話をするのが好きだった」
- Ⓒ 「筆者にうらやましがらせたかった」
- Ⓓ 「彼は自分の言ったことを文字通りの意味で言っていた」

正解はⒹ。第5段落第1文で「すると突然、彼は当時の私には完全に筋がとおっていないように思えた発言をした」とあり、続く第2文で「宝くじに当たったことは、私に起こった最悪の出来事の一つ

でした」というジェームズの発言があるので、筆者は宝くじに当たったことが最悪の出来事だという発言をこの時点では脈絡のないものとして受け取っている。しかし、第6段落第2文以降で「彼は実際に宝くじを当てていた。それ以前、彼は私に、パン職人だったと語った。彼は自分の仕事に長けており、客たちは彼の腕前を高く評価していた。彼は仕事を楽しんでおり、自分が作る食べ物が人々に幸福や喜びを与えることに満足感を覚えていた。独身ではあったが、彼には気の合う仲間の輪があった。彼らはパン屋で一緒に働いていたので、彼が孤独を感じることはなかった。だが、宝くじに当たったとき、すべてが変わった」とある。そして第8段落第1文で「ジェームズは仕事を辞め、海辺の高級住宅地に引っ越した」とある。さらに、第9段落第2、3文で「友人や好きだった仕事を捨てて、人々が巨大な家の中で互いに干渉せずに暮らす地域に引っ越してしまった。孤独です」とあることからジェームズが宝くじを当てて生活を一変させた結果、孤独に陥ってしまったことがわかる。したがって当初の宝くじが当たったことが最悪の出来事だったという彼の発言は文字通りの意味で言っていたと判断できる。

問34 「ジェームズはパン職人としての自分の人生をどのように語っていたか」

- Ⓐ 「自分はごく普通のパン職人にすぎないと思っていた」
- Ⓑ 「彼は他にやるべきことがないのでパンを焼くのに時間を全部費やした」
- Ⓒ 「彼は仕事中に一人でパンを焼いているので孤独を感じた」
- Ⓓ 「彼には周囲に親しい人たちがいて、パンを焼くことにやりがいを感じた」

正解はⒹ。第6段落第4文「彼は自分の仕事に長けており、客たちは彼の腕前を高く評価していた」と第5文「彼は仕事を楽しんでおり、自分が作る食べ物が人々に幸福や喜びを与えることに満足感を覚えていた」、第6文「独身ではあったが、彼には気の合う仲間の輪があった」が根拠である。これらを手掛かりにすればジェームズには常連のお客さんがいて、パン職人としての人生にやりがいを感じていたことが読み取れる。

問35 「下線部(35) “It was as if his new status compelled him to become a different person.” の意味する内容は何か」

- Ⓐ 「高い社会的イメージを手に入れたことで、彼は成功したパン職人にならねばならないと思い込んだ」
- Ⓑ 「新しい地位によって、彼は以前と同じくらい贅沢や余暇を楽しむ資格があると感じた」
- Ⓒ 「社会的地位を得たので、生き方や自分自身を変えるべきだと思うようになった」
- Ⓓ 「新しい社会的立場のために、より高収入の仕事を得るべく、もっと努力すべきだと気づいた」

正解はⒸ。第7段落第1文「突然彼は『金持ち』になったので、人生の質を上げるべきだと思った」が根拠となる。続く第2文「テレビ、映画、広告、他の文化メディアから吸収したメッセージを手掛かりにして、贅沢と余暇の世界に入る決意をした」が「人生の質を上げる」という彼のとった行動の具体的な内容となっている。

問36 「角カッコ内の語句を並べ替えて文を完成させるとき、(X)と(Y)の最も適切な組み合わせを選べ」

Ⓐ (X) his needs	(Y) a constant stream
Ⓑ <u>(X) met</u>	(Y) of
Ⓒ (X) his needs	(Y) money
Ⓓ (X) of	(Y) a constant stream

正解はⒷ。まず with が付帯状況を作る前置詞であることを見抜く必要がある。付帯状況の表現は、たとえば “with his eyes closed” 「彼は目を閉じて」 のように “his eyes are closed” を圧縮した意味上のSV構造がなければならない。そこで、 “all his needs are met” 「彼の必要がすべて満たされる」というSV構造を圧縮して “all his needs met” を作る。なおここでの meet は「(欲求・必要)を満たす」という意味の他動詞である。次に、 “a constant stream of money is coming in” 「絶えずお金が流れ込

んでくる」というSV構造を圧縮して “a constant stream of money (coming in)” を作り、前半と後半を and で結べばよい。完成した表現は (with) all his needs met and a constant stream of money (coming in) である。以上によって、空欄(X)には met, (Y)には of が該当することになる。

問37 「新しい地区へと引っ越した後、ジェームズの生活はどのように変化したか」

- Ⓐ 「彼はお金に一切困ることなく、引き続き素晴らしい時を過ごした」
- Ⓑ 「医療施設に閉じ込められて、彼の夢のような生活は断たれた」
- Ⓒ 「彼は新しい友人と自然の中で過ごす楽しみを得た」
- Ⓓ 「彼は協力的で思いやりのある仲間の輪への帰属意識を失った」

正解はⒹ。引っ越す前のジェームズの生活は第6段落第6, 7文「独身ではあったが、彼には気の合う仲間の輪があった。彼らはパン屋で一緒に働いていたので、彼が孤独を感じることはなかった」からわかる。引っ越し後の生活は、第9段落後半のジェームズの発言「友人や愛していた仕事を手放し、人々が巨大な家の中で互いに干渉せずに暮らす地域に引っ越してしまった。孤独です」からわかる。この変化を表しているのはⒹである。

問38 「下線部(38) “heeding his own heart”とはジェームズの場合どういう意味か」

- Ⓐ 「本当に大切にしていたものに基づいて決断すること」
- Ⓑ 「宝くじ当選者がすべきだと考えていることを行うこと」
- Ⓒ 「他人が自分に期待していたことに耳を傾けること」
- Ⓓ 「裕福な生活には孤独がつきものだと受け入れること」

正解はⒶ。下線部を含む1文の意味は「ジェームズは、自分の心の声に耳を傾けるのではなく、宝くじに当たった人間がすべきだと思い込んでいたことを実行したことがひどい誤りだったと、あまりにも遅くなってから悟った」である。ここでの「宝くじに当たった人間がすべきだと思い込んでいたこと」とは、主に第7段落で述べられている高級住宅地における贅沢な暮らしだが、その生活には引っ越す前にあった仲間の輪への帰属意識が欠けていることは、問37の解説において確認済みである。そのことがひどい誤りだったと悟ったということは、仲間の輪への帰属意識こそがジェームズにとって大切なことであり、心から大事だと思っていたことだとわかる。つまり、ジェームズが「自分の心の声に耳を傾ける」とは「仲間の輪への帰属意識を大切にする」ことであり、この内容に近いものがⒶである。

問39 「空所(㊱)に入れるのに最も適切な単語を選べ」

- Ⓐ 「～を必要とする」
- Ⓑ 「～を制限する」
- Ⓒ 「～を保証する」
- Ⓓ 「～を理解する」

正解はⒸ。下線部を含む1文のおよその意味は「ジェームズの経験は、現代社会で私たちが最も価値を置いているように見えるもの、つまり地位、富、業績、名声が、幸福～ないことを示す一例だった」である。第8, 9段落から、巨大な富を手にしたジェームズが、結果的に幸福ではなくなったことがわかる。つまり、富などを手にしても、幸福は保証されないことになるため、Ⓒが正解である。

問40 「筆者は下線部(40) “a hidden human cost”について何と述べているか」

- Ⓐ 「私たちは、富と健康を得るために、結局は奴隸のように長時間働く羽目になる」
- Ⓑ 「物質的利益を追い求めることで、感情的な充実感が減ることがある」
- Ⓒ 「注意を怠ると、信頼していた人々に見捨てられることがある」
- Ⓓ 「大切な財産を守ることは、思っている以上に大きなコストがかかる」

正解はⒷ。最終文で「注意を怠れば、そのような成功は、個人と他者との距離が広がるにつれて、ますます孤独を感じさせる人生へとつながりかねない」とあることから、ジェームズが宝くじで大金を得てぜいたくな暮らしをしても、それと引き換えに、パン職人としてお客様を喜ばせ仕事にやり

がいを感じていたときの充実感が失われることが読み取れる。

講評

Ⅰ [文法 4 択]	(標準)	語彙問題・口語表現が増加しつつあるとはいえる、基本的に文法事項に関する標準レベルの知識や熟語・前置詞について、日頃の学習で学んだ知識を活かすことのできる問題で構成されている。
Ⅱ [長文総合]	(標準)	「水鳥が冷水において体温を失わない仕組み」に関する英文。比喩的な表現の意味を問う設問など、状況の理解度を試す設問が用意されている。物理的な特性に関する背景知識の有無が読み易さに若干影響するだろう。
Ⅲ [長文総合]	(やや易)	「宝くじで充実した人生を失った患者から学んだ、医師という職業のもつ社会的側面」に関する英文。富を手にしても、人とのつながりを失うことで人生を台無しにした人物について語られており、内容について特に難しいところはない。

大問数、全体の設問数には変化なし。全体に取り組みやすく、昨年同様英文の語数が少なく、じっくり取り組めるので、かなりの高得点も見込めるだろう。目標は 70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156まで

医学部進学予備校 **メビオ**
☎0120-146-156 <https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校
YMS
heart of medicine
医学部専門予備校
英進館メビオ 福岡校
福岡校
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

☎ 03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>
☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>



登録はこちらから

諦めない受験生をメビオは応援します！

医学部後期入試ガイダンス 参加無料
2/11 (水・祝) 14:00～14:30
医学部進学予備校 メビオ校舎
お申込みはこちら▶ 

医学部進学予備校 **メビオ** ☎0120-146-156

後期入試もチャンスあり！
私立医学部 大学別後期模試 2026年度入試対策
近畿大学医学部 2/17(火)
金沢医科大学 2/20(金)
締切：4日前 15:00 会場：エル・おおさか
詳細やお申込みは
こちらから 

校舎にて個別説明会も随時開催しています。
【受付時間】9:00～21:00 (土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分